

NEWS RELEASE

No. 15-6

2015年8月19日

(公財)損害保険事業総合研究所

8月25日発刊「損害保険研究」第77巻2号のご案内

今般、損保総研では、機関誌「損害保険研究」第77巻2号を8月25日に発刊します（発刊は5月、8月、11月および2月の年4回です）。

本誌は、学者と実務家による損害保険ならびにその関連分野に関する研究・調査の発表を通じて、研究者・実務家双方にとり有益かつタイムリーな情報を提供することにより、損害保険に係わる学術振興ならびに損害保険事業の発展に寄与することを目指しています。

★77巻2号の概要

損保総研では、同志社大学大学院司法研究科教授山下友信氏による講演会「民法（債権法）改正と保険」を5月8日に開催し、300名を超える参加者から高い評価を得ました。今号に掲載した講演録は、その重要論点を網羅しており、今後の債権法研究ならびに保険実務に必ず役立つものと思われま

す。今号の冒頭には、海上保険と傷害保険の法理論につき、過去の号に掲載した内容にさらに検討を加えた研究論文2編を掲載しました。

続いて、自賠責保険の後遺障害認定に対する異議申立事例と金融機関専門業務賠償責任保険を取り上げた、実務的にも興味深い研究ノート2編を掲載しました。

また、全国学生保険学ゼミナール（RIS）2014年全国大会での優秀論文は、学生の視点からの分析・提言として参考になるものと考え、寄稿として掲載しております。

いずれも実務家ならびに研究者にとり、大変示唆に富む内容と考えますので、この機会に、是非ともご購入くださいますようお願いいたします。

★主な掲載内容

【研究論文】

「性質損害が発生した場合の保険者のてん補責任」

明治学院大学名誉教授 松島 恵

「アメリカ傷害保険事故論の混迷と傷害保険の事故概念（2・完）」

早稲田大学法学部教授 大塚 英明

【研究ノート】

「後遺障害の認定と異議申立に関する一考察」－神経症状12級・14級を中心として－

一般社団法人日本損害保険協会主査 加藤 久道

「金融機関専門業務賠償責任保険の有効性と限界」－銀行業の事例を想定して－

フェデラル・インシュアランス・カンパニー経営保険本部長 山越 誠司

【講演録】

「民法（債権関係）改正と保険」－改正の意義、重要論点及び今後の保険実務－

同志社大学大学院司法研究科教授 山下 友信

【寄稿】(RIS2014 優秀論文)

「我が国のLCCに対する航空券代金補償保険に関する考察」

明治大学中林真理子ゼミナール

「企業のリスクマネジメントと経営者の在任期間」

－「経営者リスク」とエントレンチメントコストの観点からの検証－

東京経済大学柳瀬典由ゼミナール

【判例報告ならびに研究所事業紹介】

「損害保険判例研究会」判例報告

「2015年度『損害保険研究費助成制度』募集開始のご案内」

「2014年度下期 調査・研究報告書

『アジア諸国における損害保険市場・諸制度の概要について(その2)』

「損保総研レポート第111号」概要

★お知らせ

『損害保険研究費助成制度』2015年度募集を開始しました(募集期間:7月1日~9月7日)

詳細は本号または、弊所Web Siteをご覧ください。

<https://www.sonposoken.or.jp/content/view/full/2688>

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

編集室 三木博生 TEL 03-3255-5513

「損害保険研究」お申し込み先

<https://www.sonposoken.or.jp/content/view/full/252>